



第3代よねやま親善大使が決定！

「第3代よねやま親善大使」には36人の学友・奨学生から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2018年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。

		
エンフォルド, ボロルトヤ (モンゴル/2010-12/米沢RC) モンゴル米山学友会創立理事。 2016-17年度第3450地区ツェツェーグンRAC会長をつとめ、会長賞を受賞。在モンゴル日本国大使館勤務を経て再び来日し、現在はAI関連企業に勤務している。	アブデルアール, アハメド (エジプト/2013-15/大東中央RC) 早稲田大学大学院博士課程在籍中。また、国際理解支援協会講師として、日本の子供たちへの異文化教育にも尽力。エジプト・アラブ文化を広めるイベントを企画するなど人集めに長けたアイデアマン。	李英愛 (イヨンエ) (韓国/2002-05/札幌幌南RC) 北海学園大学非常勤講師。第2510地区と韓国第3700地区との通訳を10年間務め、日韓クラブの橋渡し役も多い。札幌ライラックロータリー衛星クラブ創立会員で、今年度幹事。第2510地区米山委員。

2018学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2018学年度の奨学生は854人となりました。新規採用者602人、継続者252人(4月10日現在)、800人を超えるのは2012年以来のことです。国・地域別にみると、中国39.2%、ベトナム14.8%、韓国9.8%、マレーシア4.4%、台湾4.1%の順、また、プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が788人(学部:299人、修士:280人、博士:209人)、地区奨励奨学金16人、クラブ支援奨学金12人、海外学友会推

薦奨学金5人、海外応募者対象奨学金33人となっています。今月は各地区でオリエンテーションが開催されています(第2600地区のみ5月実施)。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。研修を含めて1泊で行われる地区もあります。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。

寄付金速報 — 2017-18年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.7%増(普通寄付金:0.6%増、特別寄付金:8.5%増)約6,500万円の増加となりました。3月も好調に推移しており、皆様からの貴重なご寄付

に深く感謝いたします。今年度も残すところ3カ月弱となりました。これからは特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

“よねやま”がテーマのIM — 第2750地区 —

第2750地区多摩東グループのIM（ガバナー補佐：粕谷啓之氏、ホスト：東京調布むらさきRC）が4月5日、都内ホテルで開催されました。

テーマは「ロータリー米山記念奨学事業は、人材育成」。米山記念奨学会の財団設立50周年記念DVDが上映されたほか、基調講演を学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん（モンゴル／1998-99／山形北RC）と、ジギャン・クマル・タパさん（ネパール／2008-09／横浜たまRC）が務め、二人の話に感銘を受けたロータリアンが即日多額のご寄付をくださったほど、米山学友の活躍が伝わるすばらしいスピーチでした。懇親会ではアトラクションと



して、コリーン・クリスティナ・シュムコーさん（アメリカ／2014-16／東京葛飾RC）が、会場を巻き込みながら三味線や篠笛の演奏を披露し、文字通り“よねやま”に特化した、全国でも珍しいIMとなりました。

ミャンマー米山学友会が初の年次総会を開催

2017年2月に設立された最も新しい学友会、ミャンマー米山学友会の総会が3月11日にヤンゴン市内で開催され、学友9人が参加しました。発足からの1年余、日本のロータリークラブの奉仕活動に協力するほか、田中作次元RI会長からの支援金を基金とした“田中作次奨学金”の創立運営な



ど、活発に活動しています。総会では役員改選が行われ、会長・副会長の続投と新任の役員が決定しました。創立時から会長を務めるタンシンサインさんは、「今年度も昨年からの奉仕活動を継続し、多くの学友が参加するよう力を入れていきたい」と、メッセージを寄せてくれました。

タイ米山学友会総会報告 — 新役員を選任 —

3月17日、タイ米山学友会の年次総会がバンコク市内で開催され、タイ学友17人と家族、タイ・日本のロータリアン、韓国学友会・関西学友会の有志など、計35人が参加しました。今回の総会では、4月からの役員改選が行われ、会長にペッチ・ポンポーさん（1992-94／豊橋南RC）ら、新役員が選任されました。第4代会長に就任するペッチさんは、「当学友会設立当時の趣旨である、奉仕活動と“日本との懸け橋”



を行動方針として努めてまいります」と、抱負を語りました。